

今回は、9月にあった進路に関する学習を紹介します。

★『先輩さん、いらっしゃい』

一般就労をすれば、障害者就業・生活支援センターの方が担当してくれ、仕事や生活のことをサポートしてくれます。通称は、圏域ごとに異なり、和歌山市『つれもて』岩出市『フロンティア』海南市『るーと』です。今回はこの3か所から、実際に障害者雇用として、働いている方（他校の卒業生）のお話を聞いたり、仕事の様子を写真や動画で見たりしました。

圏域	仕事内容	経緯
つれもて	保険会社の事務	社会人になってから、病気になり、休職。その後、精神保健福祉手帳を取得し、障害者雇用で勤務。
るーと	水質検査	B型で生活習慣を整え、仕事についての訓練をし、一般就労。5時間勤務のスーパーからフルタイム働くことができる現会社へ転職。
フロンティア	ゴルフ場でのプレイヤーのサポート	支援学校を卒業後、就職。早朝からゴルフ場での勤務。お客様の予定で残業もあり。

【当事者のお話より】

- ・はじめはB型で自分のペースで働きながら、『生活リズムを整えること』、『仕事の基礎』等を学んだ
- ・一般就労でスーパーに勤務し、『メモを取り、それを確認すること』『挨拶をすること』等を学んだ
- ・5時間勤務ではなく、長く働ける所へということで、転職した
- ・「休みたい」と思うことはあるが、趣味の時間を楽しみにがんばっている
- ・丁寧な仕事や人間関係を大切にしている



普段の生活で、**生活リズムを整えることは大切**だといろいろな場所で多くのさんから聞きます。就寝・起床を自分で管理できるように自律していきましょう！

★『障がい者のための就職活動支援セミナー』

3年生を対象にしたセミナーがあり、本校から7名が参加しました。

『働く』=『作業をする』ではない 『働く』ということは『責任を持つ』ということ

仕事終了するまでの流れについて、起床→食事→身だしなみを整える→移動→挨拶→引継ぎ→指示理解→作業→相談→報告→休憩→作業→挨拶→退社であることから、単に作業だけでなく、他にたくさんの力が必要であるというお話を聞きました。

具体的には、

起床：体調管理、規則正しい生活リズム

移動：移動手段が使えること、時間管理ができること

挨拶：適切な言葉使いや社会人としてのマナー

作業：正確さ、スピード、態度、人と協力すること・・・等たくさんのことを学びました。

いつか働く時のために、いろいろな力を身につけられるよう、本人ががんばることはもちろんですが、ご家庭もご協力下さい。